

令和5年度キングサーモンプロジェクト 協働促進サポーター 質問に対する回答

#	分類	質問内容	回答
1	事業目的について	本事業のゴールは「都政現場の解決」と「スタートアップの成長」のどちらか。	両方です。本事業では、都政現場の課題解決によるスタートアップの成長を目的としています。
2	KPIについて	「各年度3件以上の協働プロジェクトを実施し、協定期間内において、6社以上がキングサーモン企業認定を受けられるようサポート」と記載があるが、初年度2件、2年目に4件で合計6件を実施することは可能か。	各年度3社以上のプロジェクト組成をしていただく必要がありますが、キングサーモン企業認定は、協定期間内（2年間）で6社と定めているため、ご質問のような計画を策定いただくことは可能です。 ただし、各年度のキングサーモン認定企業のアウトカム評価の上限は3社です（例えば、S評価の企業が4社あったとしても、アウトカム評価で得られる金額は3社と同等になります）。 そのため、初年度からキングサーモン認定を3社達成できるサポート体制を組成することを推奨します。
3		見積金額よりも実績額が上回ったKPI項目がある場合、その分の費用も支給対象となるか。	各KPI項目の見積額が上限額となるため、超過分は支給の対象となりません。
4		都内行政現場の公共調達に係る予算は、協働促進プロモーターの経費に含まれているか。	含まれていません。協働促進サポーターには、キングサーモン認定までの支援費用をご負担いただきます。
5	都内行政現場について	1年目は都政現場の課題解決を重点的に行い、2年目に区市町村現場の課題解決を行うことを想定しているか。	1年目から区市町村現場の課題解決も対象となります。
6	支援対象のスタートアップ企業について	海外を拠点に置いているSUでも本事業の対象となるのか。	対象となります。詳細は、公募要項3 - (4)「スタートアップの選定要件」をご参照ください。
7		第三期採択企業は、協働促進サポーターの支援対象か。	対象外です。
8		企業開拓はサポーターのみで実施するのか。	様々なスタートアップに参加いただけるよう、プレス発表やキックオフイベントを通じて都でも周知活動を行います。
9	現場部署との調整について	現場部署における課題を深掘りする機会はあるか。	あります。現場部署との調整は事務局が行います。
10		都政現場とありますが、こちら現状の候補となる具体的な支援対象者様はいるか。	スタートアップの提案に基づき、事務局が中心となって都内行政現場とマッチング等の調整を行うため、具体的な支援対象者を現時点でお示しすることはできません。
11	審査会について	プレゼンテーション審査とあるが、審査時間は各社何分を想定しているか。	プレゼンテーション及び質疑応答を合わせて現状では30分程度を想定しております（時間は変更する可能性があります）。